

トラスト通信

令和7年第1号

巳年



新春のご挨拶

2025年(令和7年) 新年おめでとうございます!

北国街道海野宿開宿400年!!



NPO法人
海野宿トラスト
理事長 宮下知茂

慶長6年(1601)徳川家康が東海道を巡視させ、53の宿場を定め、問屋場・伝馬を常置させました。五街道に続いて、脇往還(北国街道等)にも宿駅制度が敷かれ、宿場が設置され物資の宿継ぎや旅人の宿泊に供しました。

寛永2年(1625)徳川幕府権力が地方まで届くようになり、社会が安定し人々や物資の活発な動きが生まれる中、田中宿の合宿として海野宿が成立しました。

400年の海野宿の歴史をたどったり、人々が宿場をどう支えてきたらうか、宿場を訪れた人々とどう交流したのたらうか。疑問だらけだけれど、「海野宿開宿400年記念事業実行委員会」を公募した皆さんにも参加していただき発足させ、海野宿開宿400年を楽しむことや、もっと海野宿を知る企画を行うために、皆さんに知恵やお力を貸していただきたい!

元日、海野宿を散歩しました。昨日までの海野宿とは何も変わっていないけれど、新しい年になり何かしら清々しさ、新たな海野宿を感じられました。街道沿いのお宅には、年神様(お正月様)をお迎えし、悪病が入らないように願う松飾り(注連飾り)が飾られ、注連にはきれいに整えられたもの、また自家の米作りで出た稲わらを使った、たくましさを表すもの等がありました。これらの注連飾りの変化は、主たる生業が農業だけではなくてきている事であると思います。古いしきたりでは、注連を家の要所要所になるべく多く飾っていました。海野宿では、玄関、神棚、床の間、物置、土蔵、蚕室、井戸、便所等に飾り、正月中各家は神様が居る神聖な場所として注連を飾り守っていたのであると思います。



「(略)海野宿が繁栄した基礎は、農業による経済的基盤をもっていたことであり、明治期の養蚕業の発展も農業基盤の上に成り立っています。この農地は海野宿が農村の中で生き続けた町であること、そして農業とともに発展してきたことを示す地域であることを示しています。(略)」

(「海野宿—海野宿見直し調査報告書」より)

この中間報告書では、海野宿支えていた基盤は農業であると指摘していますが、重伝建維持が農業だけではできないという明らかであり、厳しい現実がありますが、重伝建の維持管理には、多様な手立てを考え、創り出さなければならないと思います。

1月15日中心の小正月は、農業や生業、信仰に関したものは、1月1日の大正月より正月的な要素を多く含んでいます。小正月には、十四日年取り、モノヅクリ、どんど焼き等が行われていました。15日が祝日でなくなるとともに これらの年中行事が15日に行われなくなり、小正月も忘れられてしまうのでしょうか。農業を基盤として発展してきた海野宿だけに、農業をもとにした風習は続けられたらと願います。

去年今年(こそこと)貫く棒の如きもの

高浜 虚子

今までの活動を忘れることなく、その活動への思い・願いを今年も生かして積み重ねていこうと考えています。新たな年の出発を前に!!

■海野宿開宿400年実行委員会報告

開宿 400年

2024年1月に発足した推進委員会はほぼ毎月1回のペースで既に11回開催しました。今年はいよいよ400周年の年になり、新たに「実行委員会」として公募して再編成しました。

今後は、推進委員会で検討した数々の事業の実現に向け、さらに実行委員会で検討し実施に向けて進めていきたいと思ひます。皆様のご理解ご協力を切にお願い致します。

海野宿「ひな祭り」のお知らせ

海野宿恒例の「ひな祭り」を例年通り開催します。平成27年から地域活性化の試みとして、街道沿いの家々が一斉にひな人形を飾るひな祭りを始めました。海野宿の特徴の一つに格子戸があります。ひな人形を格子越しに観る飾り方をしたところ、他ではない独特な飾り方として評判を呼びました。

●開催期間 令和7年3月2日(日)～3月22日(土)

●イベント開催日

令和7年3月16日(日) 午前10時から午後3時まで

*期間中は海野宿の家々に「ひな人形」を展示し、夜はライトアップします。

*毎週金曜日と土曜日は夕方から宿場通りに「灯籠」を出して点灯します。

*3月16日(日)のイベント日は、ソフィアの会(着物愛好者の会)の皆様参加。人力車の運行。甘酒、こんにゃく、フランクフルト等の販売をいたします。フリーマーケットを開催します。

*公民館にもひな人形を展示します。

白鳥神社にも展示します。

*着物で歩こう海野宿を開催をします。

*丸子修学館高校生が参加し、飾りつけや、能登半島支援ワークショップの開催をします。

※詳細は今後決まり次第随時お知らせします。



*海野宿観光ガイドについて

ガイドスタッフ募集中!

●ガイド実績紹介

昨年は、ようやく観光が復活してきて、ミステリーツアーとかのバスも毎日の様に来て、ガイド陣総動員の日もありました。海野宿トラストによる観光ガイドも経験も積み、個人から団体のお客様まで広くガイドの依頼に対応しています。今年はさらに全国から大勢のお客様が海野宿にみえて、ガイドの要望は増えて行くものと見込んでいます。

●ガイドスタッフが不足しています!

ご希望の方はガイド研修を随時行います。どうぞトラストまでご連絡ください。



*トラスト会員を募集しています

随時募集中!

NPO法人海野宿トラストは会員の皆様の会費で運営されています。

トラストの趣旨に賛同され、活動を支援していただける皆様の参加をお願い申し上げます。

・会費	正会員	入会金	3,000円	年会費	6,000円
	賛助会員年間	個人	1口	3,000円	(入会金なし)
		事業者	1口	6,000円	〃
		団体	1口	30,000円	〃

・会員申し込み先 海野宿トラスト事務所 0268-55-3694 (海野宿資料館内)

Email: info@unnojuku-trust.com

ホームページ 「海野宿トラスト」で検索してください。

海野宿トラストの公式LINEアカウント登録しましょう

・右のQRコードをスマホカメラ等で読んで友達登録してください。いろいろなお知らせや特典などが届きます。

